

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月25日

計画の名称	小城市における下水道普及の推進												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	小城市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,433	A	5,433	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H26年度末	中間目標値 H29年度末	最終目標値 H31年度末
1	下水道処理人口普及率を41.2%(H26年度末)から48.8%(H31年度末)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/小城市の行政人口(人)	41%	47%	48%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	北部汚水幹線枝線整備	A=0.8ha	小城市						30	-	
	A07-002	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	江津ヶ里汚水幹線枝線整備	A=0.5ha	小城市						17	-	
	A07-003	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	牛津中央汚水幹線枝線整備	A=0.6ha	小城市						23	-	
	A07-004	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	西部汚水幹線枝線整備	A=0.2ha	小城市						8	-	
	A07-005	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	友田汚水幹線枝線整備	A=3.0ha	小城市						111	-	
	A07-006	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	三日月汚水1号幹線枝線整備	A=10.5ha	小城市						479	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	三日月汚水3号幹線枝線整備	A=5.0ha	小城市						213	-	
	A07-008	下水道	一般	小城市	直接	小城市	終末処理場	新設	三日月浄化センター 水処理施設増設	土木・建築・機械・電気設備	小城市						1,503	-	
	A07-009	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	三日月汚水1号幹線整備	L=610m	小城市						179	-	
	A07-010	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	芦刈汚水幹線1号枝線整備	A=0.4ha	小城市						16	-	
	A07-011	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	芦刈汚水幹線2号枝線整備	A=3.5ha	小城市						156	-	
	A07-012	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠(汚水)	新設	芦刈汚水幹線3号枝線整備	A=0.6ha	小城市						26	-	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-013	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠（ 污水）	新設	芦刈污水幹線4号枝線整備	A=2.6ha	小城市						113	-	
	A07-014	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠（ 污水）	新設	芦刈污水幹線5号枝線整備	A=1.8ha	小城市						77	-	
	A07-015	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠（ 污水）	新設	芦刈污水幹線整備	L=270m	小城市						80	-	
	A07-016	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠（ 污水）	新設	小城三日月污水幹線整備	L=1,010m	小城市						214	-	
	A07-017	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠（ 污水）	新設	三日月污水2号幹線整備	L=1,200m	小城市						540	-	
	A07-018	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠（ 污水）	新設	三日月污水2号幹線枝線整備	A=16.1ha	小城市						718	-	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-019	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠（ 污水）	新設	西部1号污水幹線整備	L=900m	小城市						356	-	
	A07-020	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠（ 污水）	新設	西部1号污水幹線枝線整備	A=2.2ha	小城市						100	-	
	A07-021	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠（ 污水）	新設	中央污水幹線整備	L=830m	小城市						271	-	
	A07-022	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠（ 污水）	新設	中央污水幹線枝線整備	A=0.6ha	小城市						25	-	
	A07-023	下水道	一般	小城市	直接	小城市	ポンプ 場	新設	仁俣中継ポンプ場新設	土木・建築・機械・電気設備	小城市						111	-	
	A07-024	下水道	一般	小城市	直接	小城市	管渠（ 污水）	新設	本町污水幹線枝線整備	A=0.4ha	小城市						67	-	
												小計					5,433		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											合計						5,433			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	
配分額 (a)	830	500	500	480	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	830	500	500	480	
前年度からの繰越額 (d)	51	49	52	57	
支払済額 (e)	832	496	495	460	
翌年度繰越額 (f)	49	53	57	77	
うち未契約繰越額(g)	0	14	23	36	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	2.55	4.16	6.74	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 小城市における下水道普及の推進

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 整備計画の目標が事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 整備計画の目標達成の可能性が高い地区の位置付けがされている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 整備計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 下水道普及率の向上を図るための機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	○